

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	「あそび」「運動」「学習」で笑顔溢れる発達支援教室			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 1日 ～ 2025年 12月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	2025年 1月 1日 ～ 2025年 12月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・柳沢運動プログラムを用いた運動遊び+静かな活動 ・PT、OT、STによる専門的支援	・運動遊びで体を動かした後に静的な時間を組み合わせている ・楽しみながら体を動かしている ・ST,OT,PTによるスタッフ研修の実施	・運動療育のスキルアップ研修 ・大人も楽しく体を動かす ・PT,OT,STの個別指導療時間を確保する
2	・保護者を対象とした「ほごしゃプラス」の開催 ・ファミリー参加型イベントの開催	・年に数回「ほごしゃプラス」を開催し沢山の保護者に参加して頂いている ・運動会や音楽会のイベントには保護者だけではなく、きょうだいや祖父母へも参加を呼びかけ毎回多くの方々に参加して頂いている	第18回「親なき後のこと」講習会 第19回「手遅れになる前に、、、ヒントを見つける相談会」を実施したため、続く素敵な企画を立て実施していく
3	・季節を感じる事ができるプログラムを提供 (外出、イベント、制作など) ※年間を通じて温水プールにはかなりのスパンで入っている ・豊富な社会体験、社会経験が出来る	・四季折々のピクニックや登山、4教室合同ボーリング大会 風揚げ大会、書初め大会、ハロウィン・クリスマスパーティー等様々な体験を積み重ね社会経験のスキルUPを目指している	・今年も4教室合同イベント(夏:ボーリング大会 冬:高尾登山)を企画し実施する ・当事業所の強みを生かした場所へ沢山でかける

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	毎日タイムスケジュールに入れて行っている「運動あそび」が盛り上がり、楽しくなりすぎて引き続き行う「静かな活動」でも楽しくなってしまう静かにできなくなってしまう事がある	・運動保育士と静かな活動担当スタッフによる時間配分 ・時間を気にして、子どもたちの状況を考えずに進めてしまう事がある	・まずはスタッフ自身が落ち着いてから活動を始める ・声に強弱をつけたりトーンを変える等、聴覚的アプローチをかけていく
2	児童発達支援と放課後等デイサービス児童が混在している日は、ざわついてしまい落ち着いて人数確認することが難しい時がある	同じスペースを使っているので、状況に応じてスペースや活動を分けた小集団療育を提供していく	収集がつかない時は、一度落ち着く為に絵本の読み聞かせを行う等の工夫をしていく
3	楽しいおでかけ(外部運動施設での運動あそび・温水プール・公園・歩行・外食体験・お買い物体験など)が多く、教室内で療育時間が少ない時がある	・四季折々のピクニックや登山、4教室合同ボーリング大会 風揚げ大会、書初め大会、ハロウィン・クリスマスパーティー等様々な体験を積み重ね社会経験のスキルUPを目指している	外出先でも、教室にいる時と同じようにタイムスケジュールを立て「始まりの会」や「終わりの会」を行いメリハリをつけていく